

# おいしい時間 焼き肉 炭火烧肉ナカフジ

## 手切りした和牛の様々な部位を竹炭で焼く

手切りした和牛の様々な部位が手軽に楽しめる炭火烧き肉専門店。

メインの黒毛和牛はカルビなど定番のほか、タンモトなど様々な希少部位を提供している。豚や鶏、自家製のポロニアソーセージ、野菜もある。タレに使う醤油や塩、みそなども吟味しているほか、肉を焼くには火持ちが良く、匂いがつきにくい竹炭を使い、七輪、焼き網、換気扇にもこだわっている。

焼き肉のほか、キムチ、ビビンバ、冷麺、サラダ、カレー、デザートなどのメニューも多く、素材や調理にひと工夫



中川さん(左)と丹雄亮店長



施したものも多い。また、「本日のお勧めセット」やコースもあり、最大18席の店内はグループや家族連れなど様々な年代の人が訪れる。

オーナーの中川雄太さん(42)は焼き肉店で10年修行した後、令和元年に現在の場所で独立して開店した。その後、より多くの人においしい肉を提供

☎5761-8529 東和泉1-18-8 狛江タカラビル2階 営業=午後5時~11時 不定休

**MENU (税抜)**  
 ロース¥990、タン塩¥990、ハラミ¥990、カルビ¥990、タンモト¥1,590、サンカク¥1,790、薄切り上ミノ¥1,190、ナカオチ¥1,190、ポロニアソーセージ¥690①カルビクッパ¥990②特上肉サラダ¥890、キムチ盛り合わせ¥760、石焼きビビンバ¥990、冷麺¥990、キーマカレー¥1,190、お勧めセット¥3,000~

しょうと4年に成城店、5年に登戸店をオープンした。各店の運営はそれぞれの店長に任せ、中川さん自身は筋切りなど技術と経験を要する肉の下準備と経営にあたっている。中川さんは、竹炭の使用で里山を守り、下準備で出た半端な部位をカレーや自家製ソーセージに使うなど、環境問題にも取り組んでいる。



①

②



## 絵手紙のバッグやカップ

絵手紙創始者で狛江市の名誉市民の小池邦夫さん(故人)の作品をモチーフにしたマグカップ、湯呑み、トートバッグを狛江市文化振興事業団が販売している。

マグカップと湯呑み

は狛江駅前の平成22年と令和2年の巨大絵手紙を使っている。トートバッグは市内の道に貼ったロードシートに用いられた富士山を描いた作品を使い、昨年、新たに作られた。価格はいずれも



マグカップと湯呑み

1,000円(税込み)。問い合わせは☎3430-4106(一財) 狛江市文化振興事業団。

## ひらがね 絵手紙の輪

## だれもが楽しめる駒井公園がオープン

年齢や性別、障がいの有無を問わず楽しめる市内初のインクルーシブ遊具ゾーンを備えた駒井公園が駒井町2-21-1に4月1日(日)にオープン。



市内初のインクルーシブ遊具ゾーン

同日に催されたオープニングセレモニーでは松原俊雄市長らがテープカットし、雨にもかかわらず訪れた子どもたちは早速、園内の遊具で楽しそうに遊んでいた。

同公園は、計画策定段階から市民参加型のワークショップやアンケートなど約400にのぼる意見を参考にして「みんながつながる、遊びと憩いのコミュニティパーク」をコンセプトに建設された。体を支える機能付きのブランコや車いすで遊べる砂場などのインクルーシブ遊具を置き、クッション性の高い素材で舗装するなど、安心して楽しめる配慮が施されている。

今回開設した面積は約1,629㎡で、今後はトイレや芝生などの工事を行い、完成後の面積は約4,490㎡と市内で4番目の広さを持つ公園になる予定。



多摩川の桜並木の横で万葉パレード

## 万葉パレードや大茶会 桜まつりに約7,000人

こまえ桜まつり(狛江市主催、狛江市観光協会後援)と多摩万葉大茶会(狛江市観光協会主催)が3月28日(日)に西河原公園で催され、家族連れなど約7,000人が桜と万葉にちなんだイベントを楽しんでいた。

万葉茶会は市内にある玉川碑にちなんで今年初めて催された。藤田克彦会長ら約40人が万葉衣装で西河原公園から五本松までパレードした後、茶会形式の宴に加え、狛江第二中学校と都立狛江高等学校の箏曲部の演奏、金春流能楽師中村昌弘さんらによる能の上演などが行われた。

桜まつりは、公園のステージでフラダンスなどの踊り、ライブ演奏など13にのぼるパフォーマンスが披露された。会場内では出店とキッチンカーなど27店が軽食や菓子、飲み物、雑貨などを販売した。

## プロ歌手の演歌を楽しむ 東京多摩病院でコンサート

東京多摩病院(岩戸南2-2-3)で3月18日(日)、演歌歌手坂本みさとさんを招いた「桜コンサート」



坂本みさとさん

が開かれた。坂本さんはオリジナル曲「あっぱれ日和」「おりがみ」に加え「北国の春」「瀬戸の花嫁」「時の流れに身をまかせ」などの昭和歌謡をはじめ12曲を約40分間熱唱、入所者とその家族、職員ら約50人は一緒に歌を口ずさんだり、ライブ用のライトやうちわをふったりして楽しんでいった。

同院は要介護者の長期療養や生活のための介護医療院で、利用者がリフレッシュできる様々なイベントを催しており、1階ロビーで花祭りや七夕、クリスマスの時期などにコンサートを催している。坂本さんのコンサートは、同院職員の中西和枝さんが坂本さんの所属事務所の職員と知り合って出演を依頼。令和6年に初めて実現、今回で3回を数える。同院は地域に開かれた病院を目指しており、プロの歌声を多くの人にも楽しんでもらおうと窓口などに告知ビラを掲示して参加を呼びかけた。

若手の実力派として注目されている坂本さんは「大きな舞台と違って、聴いている皆さんがすぐ近くので力をもらい、うれしかったです」と話していた。

## 多摩川統一清掃に1,691人 河川敷から約150kgを回収

多摩川統一清掃が4月11日(日)に行われ、町会や小中学校、企業など44団体、1,691人が参加した。

狛江市美化運動推進実行委員会と狛江市が主催しており、今年で46回目。子どもから高齢者まで幅広い年代の参加者は多摩川五本松から駒井町3-25先の警視庁白バイ訓練コース付近まで約2.5kmにわたって河川敷や堤防の草むらに入ってごみを拾った。多摩川緑地公園グラウンドに集まったごみは包装紙やペットボトルなど約150kgで、なかには旅行トランクや掃除機などの大物もあった。お花見シーズ

ンの後だったが、昨年に比べごみの量は少ないという。



河川敷でごみ拾い

## 歯科医師会が健康フォーラム 6月7日にエコルマホールで

一般社団法人東京都狛江市歯科医師会が公開講座「第11回狛江市歯科医師会市民健康フォーラム21-口から育つ心とからだ、口から始める健康、長寿」を6月7日(日)午後1時からエコルマホールで催す。

当日は日本大学歯学部保存学教室修復学講座特任教授の宮崎真至さんが「お口の健康一歯を大切に毎日イキイキと暮らす秘訣とは」、茨城女子短期大学准教授の吉村風さんが「ハガキを書くと歯痛が直る!? - 民俗学から見る医療とくらし」と題して講演する。

参加無料で先着200人にプレゼントがある。

問い合わせ☎3488-7711 狛江市歯科医師会事務所。

## 17日にいずみ市開催 ぽかぽか広場に会場変更

和泉多摩川商店街振興組合が、17日(日)(雨天24日(日))に第5回いずたまフリーマーケット「いずみ市」を開催する。

今回から会場をぽかぽか広場に変更し、午前11時~午後4時30分に市内の団体や個人などによる雑貨、衣料品、菓子の販売など16店が出店する。

また、午後4時30分~7時に商店街の道路でオープンテラスを催す予定。

問い合わせ Mizumiichi.komae@gmail.com 同会事務局。